生活はこれで安心よ
國民年金制度だね

国民年金制度のうち保険料をかける拠出制の年金が七月から事務が始められることになりました。

国民がだれでも年をとつたり、不具廢疾になつたりあるいは一家の働き手が死亡したときにも生活が保償されるように年金がもらえるのが国民年金制度です。

いままでは厚生年金保険をはじめ恩給、各種共済組合などいくつかの制度がありましたが、これらはいずれも一定の条件を備えた人達でなければその恩恵に浴することができませんでした。

こうしたことからいままで取り残されていた農、漁民はもちろん、一般商店を経営している人達や家族をも国民年金制度によつて生活の保償をすることになつたのです。

既に昨年からは老人、母子世帯、身障者のほか一定の保険料を納めることのできない人達を対象にした福祉年金が支給されていますが、明年四月一日からは残る全部の国民が保険料を納める国民年金が始められます。

このため市福祉事務所では、七月からは対象となる人たちの世帯調査を始め、該当者を調査の上、十月には年金手帳を交付、明年四月一日からのスタートに備えることになりました。

ではこの保険料の納める拠出制の国民年金はどんなものなのでしょう。―「花子さん」の家での話に耳をかたむけると―

国民年金問答……
花子さんの家庭では

花子さん―お父さん、拠出制の国民年金とはどういうのですか。

お父さん―これは二〇才以上の人が保険料を納めて、としよりになつたり、けがをしたときに年金をもらえるのです。

花子さん―これにはどうしても加入しなければならないのですか。

お父さん―そうです。二十才から五十才までの人は全部強制加入となるのです。

お母さん―お父さんは恩給の積立金を毎月引かれているけれど、加入しなければならないの。

お父さん―官公庁や鉱山、工場につとめている人は、恩給とか厚生年金に入つているからこんどの国民年金には加入出来ないことになつているのです。だけど、配偶者は任意加入出来ます

花子さん―保険料はいくらですか。

お父さん―二〇才から三十四才までは月一〇〇円、三十五才以上は月一五〇円で来年の四月一日からおさめるのです。

お母さん―二〇才以上の人は強制加入といゝましたけど保険料のおさめられない人はどうなるのですか。

お父さん―生活保護を受けてる人や、お父さんのいない家庭や、生活の苦しい家庭の人には、国でこの人の保険料をかけてくれるのです。

花子さん―老人になつたり、けがをしたら年金をもらえるといいましたがくわしく話して下さい。

お父さん―じやあ、左上の図解を見て下さい。

年金の種類	支給時期	支給要件
老令年金	六十五才より	①保険料を二十五年以上おさめていること ②保険料を十年以上おさめて免除期限とあわせて二十五年以上のこと
障害〃	目が見えなくなつたり、耳がきこえなくなつたり、大きなけがをしたとき	最低保険料を三年以上おさめていること
母子〃	父が死亡して母と十八才未満の子となつた時	〃
遺児〃	父母も死亡した十八才未満の子	〃
寡婦〃	六十才から六十四才までの未亡人	夫が老令年金の受給資格がありながら、もらわないで死亡した場合、その配偶者

支給額

1 老令年金は二十五年という期間が昭和三十六年四月一日で三十二才以上の者は二十四年から十年に短縮され、保険料のおさめた年数により支給額もかわつてくる

例……四十五才で十年おさめた場合は六十五才から年額九、六〇〇円もらい七〇才からは一四、四〇〇円死ぬまでもらえる。

2 障害年金―三年保険料おさめた場合、年額二四、〇〇〇円（一級はこの額に六、〇〇〇円加算す）

3 母子年金―三年保険料おさめた場合、子が一人の時　年額一九、二〇〇円

4 遺児年金―三年保険料おさめた場合、子が一人の時　年額七、二〇〇円

5 寡婦年金―夫のもらえる老令年金の半額

係から― 国民年金事務は市役所社会係であつかつていますから、くわしいことは係にお聞きください。また、くわしい話をお聞きしたい組合、団体は日時と場所を連絡くだされば係が行き、説明いたします。

防犯手帳

これから夏祭りがあちこちで催されるころに多くなるのが押売りです。

買わない後のおそろしさに、つい不用のものまで買つてしまつたり、泣きね入りで終つた経験を持つているのではないでしょうか。

たしかに一頃のように入つてくるなり押売りのような態度はなくなつたでしょうが、最後には地金をあらわしてきます。

留萌警察署では、この時期を迎え、六月には押し売り防止運動を進めます。

ご主人が勤めに出たあとの奥さまなどには、特にふだんから隣り近所の人達と協力して被害を防ぐように次のようなことを守つてください。

△いろいろな証明書や名刺などを見せるものもきますが、そのほとんどが、にせもので押し売りであることが多いのです。

△戸をあけておくような特別の必要がなければ昼の間でも玄関や勝手口などの戸締まりを確実にしておくことが無難です。

△ご主人のいないときでも場合によつては、いかにも茶の間か、奥ざしきにいるように思いこませるのも一つの方法です。

△押し売りの品物は手にとらず、はつきりとことわり、こちらのことばに、いゝがかりをつけられないようにしましょう。

△めぐんでやるつもりと思い、押し売りの品物を買うことは、押し売りを、つけ上らせるもとになります。

△ふだんから隣り近所と連絡しておき押し売りがきたときは協力して被害を防ぎましょう。

（留萌警察署）

假面かぶつた押売り
ねらわれる奥様たち

あなたも日赤社員に
社員増強運動

日赤社員増強運動が、六月二十日まで進められています。

日本赤十字は、世界の平和と人類の福祉をねがい、身近かには自分たちの住む社会や町に、より明るく、より幸福な生活をもたらすために活動しています。

そして日本赤十字社は法律で定められているとおり一定の社費を納める社員を中心として組織され、社業のすべてが、その社員の組織によつて、生活の貧しい人たちに愛の手をさしのべている団体です。

このような趣旨から本年は留萌市内で日赤社員を増やし目標額二十八万円を消化することになり、日赤留萌地区の協賛委員の方々が各戸を訪問、日赤社員となられるようおすすめしています。

社員となられ、毎年百円以上、十年間続けて納入される方には社員章（門標）をさしあげます。

留萌市もいままでに元町大火、五月の大町、幸町火災には日赤から毛布、日常品を贈られたり、元町大火の時には医療班のお世話になつています。その恩返えしの意味で、こぞつて日赤社員になられるよう望みます。

計量記念日

六月七日は計量記念日です。

生活の合理化ということがいろんな機会にいわれますが、家庭内のメートル化にふみ切ることは明るい合理的な生活をきずくことにもなります。

合理的な生活の一番基礎となることは「はかる」ということですが、各家庭がメートル法になれ使いこなすことによつて物を正しく計り、正しく扱う習慣が生まれ、いろんなムダに気づきます。

また家庭内ではかることを見たり聞いたりすることによつて私たちも子供たちにも、科学する心が芽生えてくるのです。

こゝでとくに大切なことは家庭主婦の協力です。

〃はかり〃の無料貸出し

留萌市では、台ばかり二台を備え、希望のご家庭に無料で貸し出しています。

希望者は商工係まで申し込んで下さい。

働らく年少者の体験作文募集

労働省は働らく年少者の体験発表を募集しています

これは実際に体験した職場での意見や希望などを発表する機会をあたえるためのもので次の内容を持つもの

一、みんなが仲良く働らいていくには、こんなことをしよう。またこんなことをして欲しい。

一、私たちの友達、仲間についてそれをもつと良いものにするためにはどうしたらよいか。

一、私たちのゆく生活から

原稿は四百字詰原稿用紙五枚以内。

応募希望者は、原稿のはじめに氏名、年令、現住所職種、勤務先の名称、所在地を記入の上、六月十日までに留萌支庁労政課または札幌市南一条西十三丁目、北海道労働基準局婦人少年室あて送るとよい。

自衛官募集

陸海空自衛官の第二次募集が六月一日から行われています。

希望者は市役所総務課庶務係か自衛隊地方連絡部へ申込むとよい。

受付期間　六月一日～七月十五日

資格　年令十八～二十五才未満

試験　七月下旬

入隊　九月下旬から

待遇　初給月額六千八百円、営（艦）内居住、他に衣食支給。

留萌市勢回顧表　十一回

年号	史実
明治二三年	○市街計画測量実施菊地嘉代吉ら之に従事する。人夫頭田浦四郎「天塩国留萌郡留萌市街地図を書く。約八千八百人に分割しあり、市街開拓事務所を旧市街時代の正覚寺に置く。」 ○北海道庁留萌技師を派遣して築港の事務調査を開始。 ○鰊漁獲高二万七千三百三十四石（十六万八千百二十円） ○鮭漁業に角網使用。 ○増毛灯台完成、通信省の管轄となる。 ○舊沖合漁業奨励のため増毛漁業協同組合と共同し増毛郡長に補助金交付申請をする。三月一千円の補助を受ける。 ○郵便局　二局　郵便発信　二三、五四五通 郵便着信　二四、九四八通 税　金三五五、一六〇円 ○森林保護の目的で留萌、増毛他四郡の森林に開通した線路は巾一間乃至三間、延長十六里半に及ぶ。 ○森林面積留萌御料林四万五千町歩、官林三万四千町歩。 ○運搬用馬七十頭、既畑二十九町二反、新畑十七町八反。 ○宮内省御料局札幌支庁を設け、これに伴い御料局札幌支庁留萌出張所発足。
二四年	○増毛区裁判所（増毛治安裁判所改称） ○上野青森間鉄道開通 ○二月北海道議会設立及び自治制施行等に関し貴衆両院に請願。 ○戸数二百九十二戸、人口一四〇四人（中土人四二） ○九月栖原角兵ヱ留萌新市街開鑿の計画に賛同、留萌、礼受、三泊三村の共有資金として留萌村百四十九番地の中、畑地一万五千三坪（価格三千円六十銭）寄付。 ○八月市政功労者故立花徳太郎青森県下北郡田名部町に生れる。 ○第二会国会五十嵐綱治（億太郎氏養父）山本仁三郎、中川宇作、八谷信助、佐賀庄五郎（徳太郎氏兄）外数十名連署で留萌築港請願書を提出。 ○増毛、留萌、苫前、稚内間の電信線架設、開信。 ○郵便局二局　郵便発信　一九、二四二 郵便着信　二〇〇六、九二〇 電信物発信　二、四四七 電信物受信　二、五一三 ○鰊漁獲高　二万二千八百七十四石（十二万九千四百円） ○運搬用馬　八十三頭 既畑　四十七町　新畑　二十四町六反 ○官制改革により警察分署独立裁庁 ○一月　留萌郵便局設置、通常郵便事務取扱開始される。
二五	○西郷従道、品川弥二郎、国民協会を設立し反民党運動を起す。 ○五月　札幌大火七一二戸焼失。 ○戸長　磯松平太郎（八代戸長） ○戸数四百二十六戸　人口千三百二十八人（中、土人四十二人） ○七月　長尾甲斎、玉子一貫両医師記録（患者一、一〇一人、治療一〇七五人、死亡二二人（中、微毒性諸病患者四八人死亡二）